飛越能（ひえつのう）ユネスコ⑤大祭 常設展示館等周遊 得トクチケット

好評発売中!!

裏面の飛越能ユネスコ5大祭常設展示館等で

岐阜・富山・石川を賢く堪能！

使用期限
平成31年3月31日まで

5館合計 通常2,760円（大人）が

¥1,000 +

さらにお得な特典!
各市を巡ってプレゼントをGETしよう!

新高岡駅出発限定のユネスコチケットがついたお得なプラン

岐阜・富山・石川をお得に堪能！

飛越能 レンタカー周遊プラン

ETC 利用者限定 ※ETCカード登録が必要です。

実施期間 4月3日〈火〉～11月30日〈金〉

能登から飛騨までのレンタカードライブ旅行に最適！

セット料金

2日券	3日券
5,000円（普通車）	5,500円（普通車）

詳細・お申し込みはこちらから
NEXCO中日本公式WEBサイト
速旅 旅行ドライブ 検索

セット内容

① 高速道路周遊エリア乗り放題
〈E8 北陸自動車道〉金沢森本IC～富山IC
〈E41 東海北陸自動車道〉飛騨清見IC～小矢部砺波JCT
〈E41 能越自動車道〉小矢部砺波JCT～高岡IC

② 新高岡駅周辺の指定レンタカー会社限定
レンタカー利用補助券 1,500円分

③ 飛越能ユネスコ5大祭 得トクチケット
5施設の共通入館券が1,000円のお得なチケット

④ 富山WEST とくとくクーポン
道の駅などで使えるサービス券

お問い合わせ
NEXCO中日本お客さまセンター（24時間）
TEL.0120-922-229（フリーダイヤル） TEL.052-223-0333 上記をご利用できないお客さま（通話料有料）

〈お問合わせ〉 飛越能経済観光都市懇談会 ユネスコ5大祭連携PR部会 事務局:高岡市観光交流課 ☎（0766）20-1301

青柏祭の曳山行事

毎年5月3日から5日までの3日間、七尾では青柏祭が行われます。高さ約12m、総重量20tの日本で最大級の大きさを誇る、通称「でか山」と呼ばれる曳山が奉納されます。でか山には、舞台かざりの場面のどこかに一本の若松を立てて、神々の降臨を仰ぎ、商売繁盛や諸々の悪疫の退散を祈り、併せて豊かな日々の暮らしも祈念します。でか山のはじまりは、都の祇園山鉾にならって文明5年（1473）国祭りの青柏祭に曳山（山車）を奉納したのがはじまりと伝えられています。

花嫁のれん館

■入館料 高校生以上 550円･小中学生 250円
幼児 無料／団体（20名以上）450円
■営業時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
■休館日 年末年始（12月29日から1月3日）
毎月第4火曜日及び展示替え期間
■TEL.0767-53-8743

※現在、青柏祭でか山に関する常設展示館がないため、地域の特色ある展示館をご紹介します。

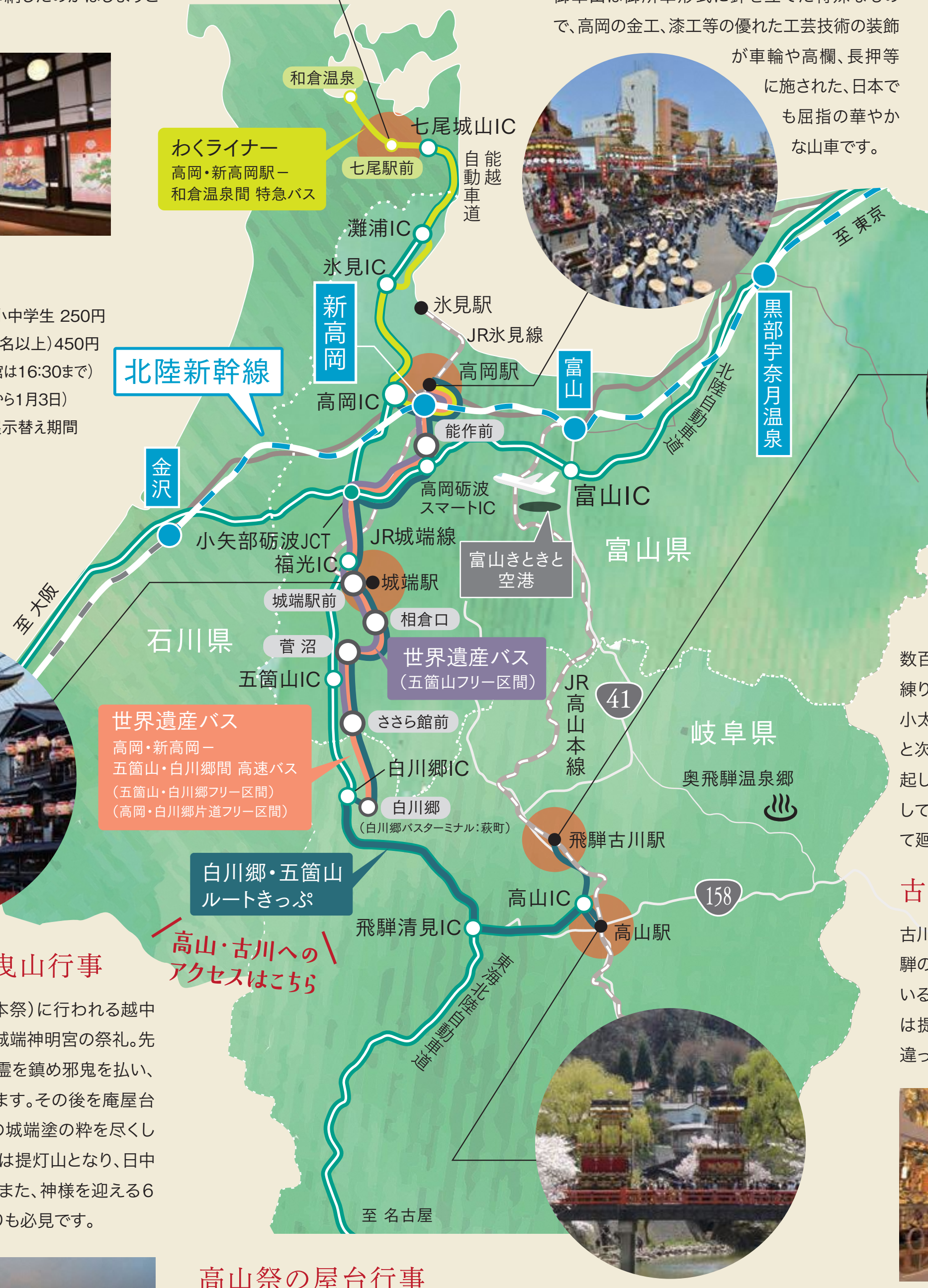
高岡御車山祭の御車山行事

毎年5月1日に行われる高岡關野神社の春季例大祭の行事であり、その歴史は1588年、豊臣秀吉が後陽成天皇を聚楽第に迎え奉る時に使用した御所車を前田利長公が1609年、高岡城を築くにあたり町民に与えたのが始まりと伝えられています。高岡關野神社の祭礼日に神輿と共に曳廻され、以来、今日に至るまで高岡の発展とともに継承されてきました。

御車山は御所車形式に鉾を立てた特殊なもので、高岡の金工、漆工等の優れた工芸技術の装飾が車輪や高欄、長押等に施された、日本でも屈指の華やかな山車です。

高岡御車山会館

■入館料 一般（高校生以上）300円
団体（20名以上）1人につき240円
■営業時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
■休館日 火曜日（火曜日が祝日のときは翌平日）、
年末年始
■TEL.0766-30-2497


和倉温泉
わくライナー
高岡・新高岡駅－
和倉温泉間 特急バス
七尾城山IC
七尾駅前
能越自動車道
灘浦IC
氷見IC
氷見駅
JR氷見線
新高岡
北陸新幹線
高岡駅
高岡IC
富山
能作前
黒部宇奈月温泉
至 東京
北陸自動車道
金沢
高岡砺波
スマートIC
富山IC
富山きときと
空港
富山県
小矢部砺波JCT
JR城端線
福光IC
城端駅
城端駅前
相倉口
至 大阪
石川県
菅 沼
世界遺産バス
（五箇山フリー区間）
五箇山IC
JR高山本線
41
ささら館前
世界遺産バス
高岡・新高岡－
五箇山・白川郷間 高速バス
（五箇山・白川郷フリー区間）
（高岡・白川郷片道フリー区間）
白川郷IC
白川郷
（白川郷バスターミナル：萩町）
岐阜県
奥飛騨温泉郷
飛騨古川駅
白川郷・五箇山
ルートきっぷ
高山IC
158
飛騨清見IC
高山駅
高山・古川への
アクセスはこちら
東海北陸自動車道
至 名古屋

古川祭の起し太鼓

数百人のさらし姿の裸男達が担ぐ櫓が町中を練り歩き、町の辻々では「付け太鼓」と呼ばれる小太鼓を持った裸男達が我先に櫓に付けようと次々に突っ込み激しい攻防戦を繰り広げる。起し太鼓の起源は祭りの準備を始める合図として、太鼓をたたき町内の氏子の眠りを覚まして廻ったことによるといわれている。

古川祭の屋台行事

古川祭屋台は、江戸からもたらされた屋台に飛騨の匠の技を加え、京都の雅やかさが融合している。町内各所で屋台が曳き揃えられ、夜祭では提灯を灯しながら厳かに曳行し、日中とは違った表情を見せる。

飛騨古川まつり会館

■入館料 大人 500円、小人 300円
■営業時間 9:00～17:00（12月～2月は16:30まで）
■休館日 なし
■TEL.0577-73-3511

城端神明宮祭の曳山行事

毎年5月4日（宵祭）、5日（本祭）に行われる越中の小京都・城端の春を彩る、城端神明宮の祭礼。先頭に立つ獅子舞と剱鉾が悪霊を鎮め邪鬼を払い、続く傘鉾が神霊をお迎えします。その後を庵屋台の情緒あふれる庵唄、伝統の城端塗の粋を尽くした曳山が続きます。夕刻からは提灯山となり、日中とは違う風情が楽しめます。また、神様を迎える6箇所の山宿が見られる宵祭りも必見です。

城端曳山会館

■入館料 一般 510円、大学･高校生 300円、
中学生以下 無料
■営業時間 9:00～17:00
■休館日 12月29日から1月3日
■TEL.0763-62-2165

※飛越能とは飛騨･越中･能登の頭文字をとった3県にまたがる広域エリア。

高山祭の屋台行事

高山祭とは、毎年4月14日･15日に開催される春の高山祭（山王祭）と10月9日･10日に開催される秋の高山祭（八幡祭）の総称で、16世紀後半から17世紀頃に始まったとされます。高山祭では「動く陽明門」とも称される屋台が春には12台、秋には11台曳き揃えられ、巧みな人形の動きを披露するからくり奉納や、仕掛けが施された戻し車、屋台を飾る彫刻や見送り幕など、匠の技が生きています。飛騨人の意気が高まる高山祭は、高山の揺るぎない誇りです。

高山祭屋台会館

■入館料 〈一般〉大人 900円、高校生 550円、小中学生 450円
〈団体〉大人 800円、小中学生 400円（20人以上）
■営業時間 3月～11月 9:00～17:00 12月～2月 9:00～16:30
■休館日 なし ■TEL.0577-32-5100

バスの
お問合せ先は
こちら

世界遺産バス わくライナー **加越能バス乗車券センター 0766-21-0950**

白川郷・五箇山ルートきっぷ **濃飛バス予約センター0577-32-1688**

飛越能経済観光都市懇談会 ユネスコ5大祭連携PR部会 事務局：高岡市観光交流課 ☎（0766）20-1301